

皇太子同妃兩殿下台覽の榮を賜ふ

Vol. VI, No. 66. THE HEAVENS July, 1926.

第
六
卷



七
月
十
五
日
號

第 六 十 六 號

龍の星座(口繪)

東宮大夫珍田伯爵よりの御沙汰書327

斗牛こ云ふ言葉..... 京城 大山 督...328

星の光..... 山本 一 清...331

ラプラスの星雲説(譯説)332

球面天文通俗講話(遊星の位相).....338

京都帝國大學助教授 上 田 穰

夏(詩)..... 星見 小路...343

獸類の星座..... 岡山 水野 千里...344

歳差及び章動..... 紀伊 小槇 孝次郎...347

1925年に於ける太陽、小遊星及彗星.....354

或る水曜日の午後..... 山本 一 清...364

へリウムと太陽熱..... 札幌 米田 勝彦...366

英文欄「ARATUS-“ Phenomena ”」(5).....368

本年七月の天文曆表(天文同好會觀測部豫報課).....370

雜報.....通信.....報告

天文同好會編

全然改造してつた新型としての

第五版簡易星圖

縦一尺六寸
横一尺二寸

教授用に最適

定價一枚に付金拾錢
外に郵送無料

京都大學天文臺

發行

天文同好會

會告

七月例會は都合により休止します

天文同好會

Contents of THE HEAVENS No. 66.....Edited by Toshima Araki

The Constellation of Draco..... (Prontispiece)

Mr. T. Oyama, On the Terms "Tō and "Gyū"..... 328

Issei Yamamoto, The Star Lights..... 331

The Nebular Hypothesis of Laplace 332

Yutaka Ueta, Phases of the Planets (Popular Lectures of Spherical Astronomy)..... 338

T. Araki, Summer 343

Chisato Mizuno, On the Constellations of Animals..... 344

Kōzирō Komaki, Precession and Nutation 347

The Sun, Asteroids and comets in 1925..... 354

Issei Yamamoto, In a Wednesday afternoon..... 364

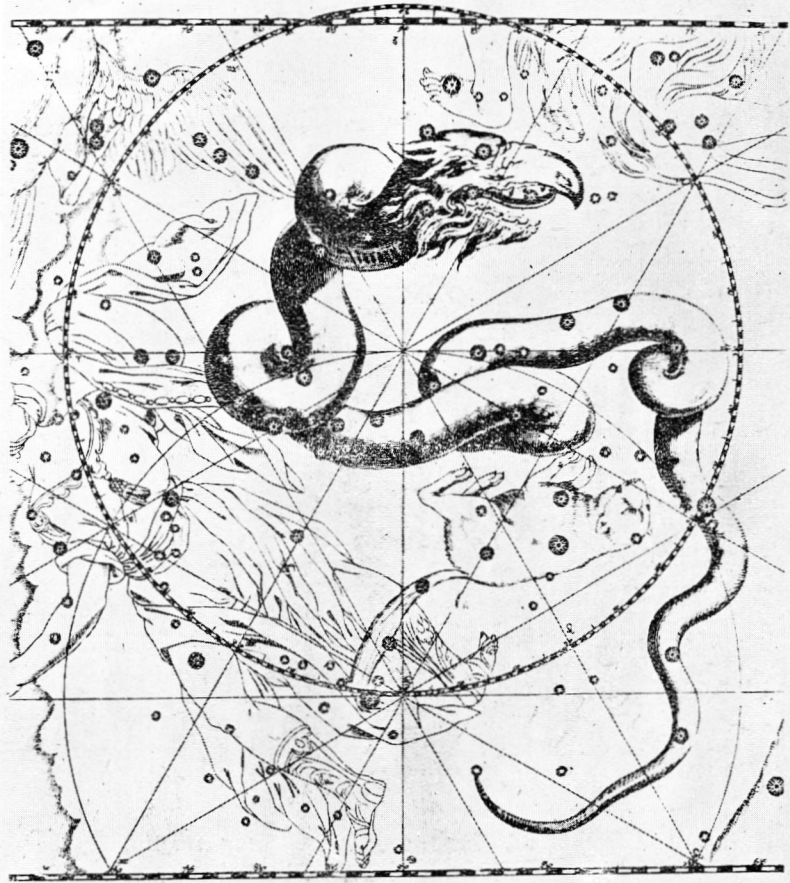
K. Yoneda, Helium and Solar Radiation 366

OUR ENGLISH PAGE: Aratus' "Phenomena" (5)..... 368

Almanac and Ephemeris for July, 1926. 370

Reports.....Letters.....etc

Published by The Society of Astronomical Friends,
Kyoto University Observatory, Japan.



龍の星座

天文同好會々報

○滿洲に於ける山本幹事のプログラム

下の如く決定した。

七月一日より同六日まで大連市で毎日午後

講演『天體宇宙と其の構造』—合計12時間

七月三日(土)午前、大連基督教青年會で

講演『天文學と宗教』

七月四日(日)午前又は午後、大阪毎日新聞社

大連支局内の婦人講座

講演『天體の美觀』

七月四日(日)午後又は夜、天文同好會大連支部

講演『天文學研究の中心興味』

七月八日と九日午後、奉天市で

講演『天體と其の進化』—約四時間

七月十日と十一日午後、長春で

講演『宇宙の廣さ』—約四時間

七月十三日と十四日午後、撫順で

講演『今日の天體宇宙觀』—約四時間

七月十六日と十七日午後、安東で

講演『宇宙の過去から未來へ』—約四時間

滿洲支部報告

一、三月六日土曜日午後三時半より樺太五十度線測定委員青木先生を聘し大建伏見町尋常高等小學校に於て樺太五十度線の測定に關する講演會開催

二、五月六日午後六時半より西岡幹事振導のもとに大連松林小學校に於て例會開催

1. 高等小學校理科教科書にある星座觀望

2. 晝夜の長短圖上計算法

二回共天文同好會員及大連獎學會員の有志出席して盛會なりしを喜ぶ

○岡山支部三月報告

1. 天界研究會。三月十三日午後七時宮原幹事宅で開催。

1. 山本博士西下。四月三日岡山驛に水野幹事出迎へ諸種の打合せをした。

1. 山本博士來岡。四月八日九州から歸途來岡直ちに津山へ。

1. 倉敷講演會。四月九日熱心な會員原澄治氏の幹旋で講演會が催され、山本博士、水野幹事が講演した。

1. 第四回岡山講習會。四月九日十日、岡山市立商業學校で開催され、山本博士が「太陽とは何ぞや」の題下に講述された。

1. 天文講演會。十日と十一日同校で開催。

1. 天文同好會總會。十一日同校で開催。

1. 倉敷觀測會。四月十七日午後二時から、倉敷小學校で、太陽の星點觀測會が催され、水野幹事が振導した。

北海道支部四月例會報告

四月三十日、午後六時より北大學生集會所にて四月例會を開く。先づ米田君の開會の辭ありて最近の會員活動、特に去る二十二日の流星觀測について語る處があつた。それから講演會が開れた。次に其の概要を記す。

(一)、白根君の太陽觀測について自分の現在行つて居る方法及び感じたことなど參考になることを話して下さつた。

(二)、舟越君は「二十八宿」について支那及印度等の古い記録から其の起源について君獨特の卓説を發表され此の二十八宿に關する二三の研究さへも面白く話された君の研究は未だ完成されないが兎に角興味ある記録探索であることを附記しなければならぬ。

(三)、永田安造君は御祖母さんの田舎に於ける實際あつた星にからまる傳説について語つた。それから同好會支部に對して熱心なる希望のべられた。

(四)、同じく永田君の“Stars of Summer Night”の獨唱は來會者一同をして全く星の世界に導くに充分であつた。疲れた頭を休める機會を與へて下したことを君に感謝しなければならぬ。

(五)、福島君は「新天體發見のロマンス」と題して先づ「ヒツパルクス」の新星發見から始まり天王星、海王星、小遊星、さては火星の御星の發見學巧みに聽衆を酔はせて了つた。

(六)、昨二十九日は有名なる數學者、天文學者、物理學者哲學者であるアンリ・ポアンカレの此の世に生を受けた記念すべき日であつた。それで米田君は「ポアンカレの傳記」について語られた。科學のたための科學を主張した彼の思想及彼の著書である「科學の價值」の中の「星學」の章の紹介をも簡單にされた。

これで當夜の講演會は閉ぢられ楽しい茶話會が開かれ十時過ぎ散會した。來會者二十餘名(全部學生)であつた。

本會經常費負債整理金

寄附者芳名 (五月末日迄之分)

金五拾圓也	京都	山本一清氏
金貳拾圓也	同	山本英子氏
金拾圓也	同	荒木俊馬氏
同	大阪	竹内忠治氏
同	同	吉岡哲夫氏
同	同	並河兼三氏
同	同	冬林三郎氏
同	同	百濟教猷氏
同	京都	中伊兵衛氏
同	愛知	柴田秀生氏
同	岡山	野崎在安氏
同	大阪	中村幸治氏
同	同	中西左見氏
同	同	本庄光一氏
同	兵庫	小泉功氏
同	同	山田榮三郎氏
同	同	内海誠三氏
同	山口	林松次氏
同	岡山	水野千里氏
同	東京	角地藤太郎氏
同	同	高藤菊夫氏
同	同	岡部直行氏
同	廣島	松本義一氏
同	福岡	巖谷安之氏
同	宮山	粕山賢次郎氏
同	樺太	打保常次郎氏
同	鳥取	西尾英次氏

同	長野	野野	上條	清人氏
金參圓	大阪	同	永井	潔己氏
同	同	和歌山	津中	雅之氏
同	同	京都	小横	孝二郎氏
同	同	同	久男	久男氏
同	同	同	勝浦	偵二郎氏
同	同	長崎	三澤	勝衛氏
同	同	兵庫	山下	市助氏
同	同	大阪	節子	節子氏
同	同	同	長田	光二氏
同	同	滋賀	小野	録郎氏
同	同	大連	岩村	卯吉氏
同	同	千葉	加藤	次郎氏
同	同	臺灣	見元	了氏
同	同	廣島	荻井	俊夫氏
同	同	東京	工藤	英雄氏
同	同	大阪	小堀	新氏
同	同	同	幸夫	幸夫氏
同	同	同	乾市	松年氏
同	同	同	寺尾	仙次郎氏
同	同	同	柴田	稔氏
同	同	同	木村	勲次郎氏
同	同	同	池田	政晴氏
同	同	同	伊東	文雄氏
同	同	同	富田	久氏
同	同	同	倉中	磯雄氏
同	同	同	金森	丁壽氏
同	同	同	小松	三三氏
同	同	同	小横	茂代氏
同	同	同	以下	五十七氏

計貳百九拾參圓參拾錢也

會員たちへ

別記の如く、天文同好會は經濟が可なり窮迫してゐます。出版物は良くなり、觀測部の諸事業は見事に發達し、更に「天界」や「ブレテン」に毎號台覽の光榮を賜はるまでに至りましたのに、財政問題で事務が溢り勝ちであるのは非常に残念であります。ところが、別頁御覽の如く、今日の財政窮迫は主な原因が會員たちからの會費の未納にある。故に此の際、會員たちの此の平凡な義務を果して頂きたい。——と同時に、會費は、規則にあるやうに、皆前金にして成るべく半年分(3圓)、又は其の倍數を納めて頂きたい。特に、一年分ならば割引して五圓にするやうに規則も改められたのだから。

本部會計の意向としては來年(大正十六年)度から會費は絶対に皆一年分の前金にして頂きたい。そうすれば事務も大變簡單になるわけ。ついでには今年末の帳尻を整へるため大正15年12月分までの會費を至急に納めて頂きたいので、近い内に集金郵便を差し立てます。御含みの上、必ず御拂ひ込みを願ひます。

大正16年度の會費は來る12月に集金郵便で請求致します。——會計

編輯室より

吾等會員一同の欣喜おく能はざるは、長くも皇太子同妃兩殿下が「天界」及び「アテン」の献上を御嘉納あらせられたことである。本會の光榮、學術の光榮、この上無い。謹んで兩殿下の萬歳を祝し、又、天文学の萬歳を祝し、本會の使命が益々聖旨に添はんことを誓ふ。

また炎陽の暴威をふるう夏期に入った。然し晝間の熱さは夜に入つて取り返えしがつく。天の川が夕暮に南天にすぐ立ち蝸座のアルファが物凄しい靈火のやうに閃めく時である。天頂近く 織女と牽牛とを眺めて、昔からの美しい七夕の物語りを物語つて居る。七月の夜は星を仰ぐに好い。

湯あみの後の軽やかな俗衣をまさい扇なつかいながら、夏の夜の星を仰ぐ時、誰でも晝間の疲れを忘れる事が出来やうと思ふ。山本

氏の都合により、「天界」の編纂はしばらくの間荒木氏に移つた。荒木氏は言ふ、さも角出来るだけ努力しやう。然し「天界」の編纂ほど困難なものはない。と言ふのは其の會員があらゆる階級のまたあらゆる知識の程度の讀者を含んで居るからである。或る讀者からはさてもむつかしくて難解であると言ふ言が度々出る。然し又或る讀者からは今少し程度を進めて欲しいとの希望がある。此の兩者の希望を同時に容れると言ふ事は非常に困難なことであるが然し兎も角此の兩者が並行するやうにしたいと希望して居る。通俗的な記事は一般讀者中の先輩に仰がねばならない。此の點に關して應分の御助力を願ひたい。そして如何なる讀者諸君の原稿でも適當と認めたまはるは掲載したいと思ふ。原稿紙の入用の方は事務の竹内氏に申込あればいつでもお送りいたします。

天文同好會

本部	京都帝國大學理學部	天文臺	名古屋支部	東區千種町高見37	濱野 眞
事務所	京都市三條青年會館内	竹内 忠治	横濱支部	横濱基督教青年會内	海老澤 廉
同志社支部	京都市同志社大學内	飯 義 壽	東京支部	府下駒澤町上馬引澤143	五藤 齊三
京都小學校教員支部	府立師範附屬	垂井増太郎	上田支部	長野縣上田市木町	宮島善一郎
中京支部	京都市錦小路油小路東	青地喜代藏	長野支部	長野市長野小學校本部	黒岩魁一郎
三高支部	京都市第三高等學校	柴田 淑次	高水支部	長野縣上高井郡須坂小學校宮川周治	
大阪支部	西區安土町二丁目船場小學校	内海茂	松本支部	長野縣	上條 清人
甲南支部	兵庫縣尼崎小學校	村山 辨次	諏訪支部	長野縣上諏訪中學校	三澤 勝衛
神戸支部	神戸市生田町四丁目	森下助次郎	仙臺支部	仙臺第二高等學校	吉井 正敏
岡山支部	岡山市門田二十一	水野 千里	札幌支部	札幌北六條西十一丁	米田 勝彦
美作支部	岡山縣津山町山下96	森本 慶三	小樽支部	小樽市北海商業學校	新谷 英一
高松支部	高松市宮脇町馬場通	田中 朝夫	滿洲支部	大連伏見町14の9の1	西岡永太郎
廣島支部	廣島市研屋町51	熊野 徳一	朝鮮支部	京城永樂町1の24	大山 高正
下關支部	下關市丸山町梅光女學院	廣津 藤吉	臺灣支部	臺北商業學校	見 元 了
福岡支部	福岡市土手町19	棚橋 陽吉	上海支部	上海崑崙山路義豐里211	森 義 清
熊本支部	縣立工業學校	山本 齊	北米支部	617 Maltman Ave., Los Angeles, Cal., U. S. A.	高岡 今平
大牟田支部	福岡縣大牟田市龜甲町	古賀 和吉			

天 界 第六十六號 大正十五年六月二十四日印刷 定價金五十錢 郵便金壹錢
大正十五年六月二十五日發行

編輯兼發行者 京都帝國大學天文臺内(振替貯金口座大阪 56765)

天文同好會 (代表者 山本一清)

印 刷 所 京都市下京區西洞院通七條南入
賣 捌 所 東京市京橋區銀座尾張町二丁目

内外出版株式會社
警 醒 社

Ein helles Licht strahlt vom W der Kassiopera

大正九年十二月二十四日第三種郵便物認可、毎月一冊二十五日發行

A HEALING CREAM

Mentholatum

夏！ 夏！！ 夏!!!

海に 山に メンソレータム

涼しき御顔は その御愛用によりて

保持されます

メンソレータム

價 定
二一五
十
圓限錢

能	效
靴すれ、風邪、鼻かたる、舟車酔、あせも、しらくも、小兒股すれ、にきび、吹出物、髭削りたる後の消毒	神經痛、リウマチス、頭痛、めまい、肩のこり、齒痛、床すれ、濕疹、いんきん、たむし、痔、毒蟲、草まけ、蚊蚤の口あと、打傷、挫傷、切傷、火傷



街ラガイナ市一ロアフバ州育紐國米
店理代總東極社會ムターレソメ
社會式株スルーセ江近